



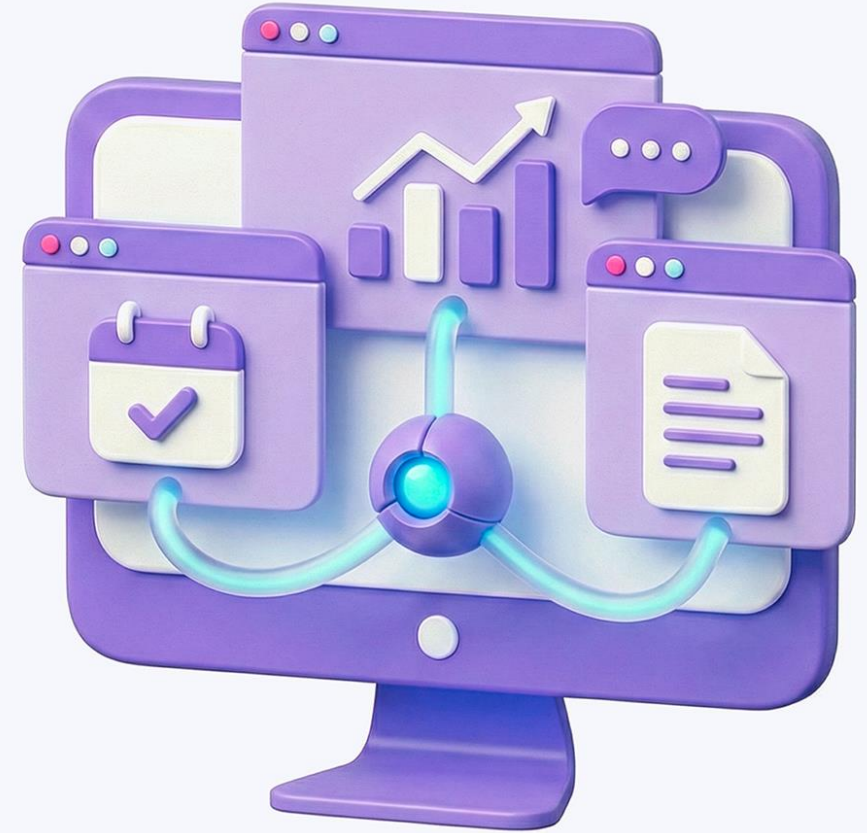
AI生産性

AI Productivity

デジタル知能のスケールリング

Frank Downing
(フランク・ダウニング)
リサーチ・ディレクター
AI・クラウド分野担当

Jozef Soja
(ジョゼフ・ソーヤ)
リサーチ・アナリスト
AI・クラウド分野担当

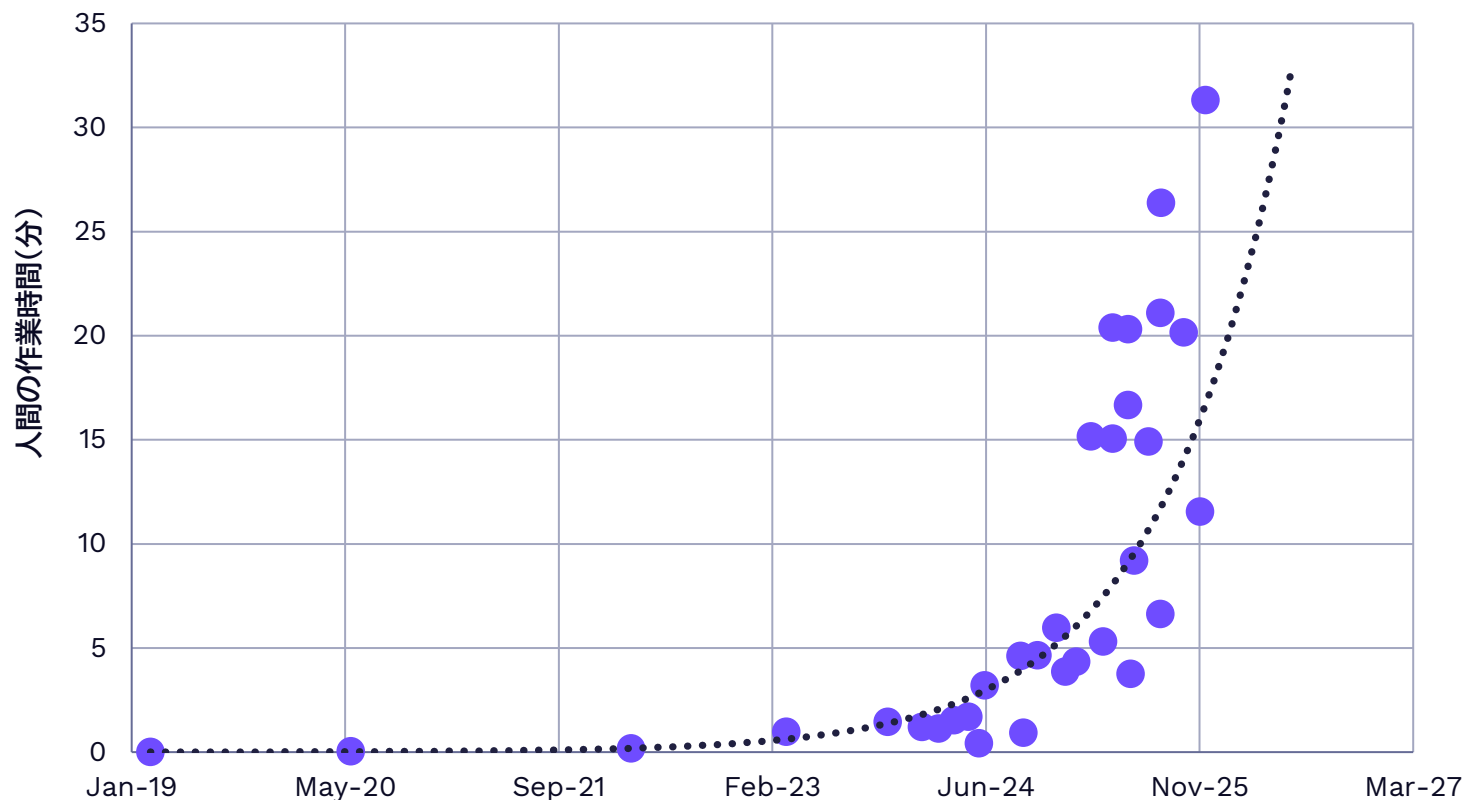




高度化するAIエージェント

推論能力、ツール活用、そして長文コンテキスト処理の進展により、AIエージェントの能力は指数関数的に向上しています。2025年には、AIエージェントが安定的に完了できるタスクの持続時間が6分から31分へと約5倍に拡大しました。

長時間タスクにおけるAIエージェントのパフォーマンス
(成功率80%)



ChatGPT加入者は半日で元が取れる可能性

米国ナレッジワーカーの時間当たり賃金中央値 \$56.5

ChatGPT利用による1日当たり平均時間削減 50 mins

1日当たりの時間節約価値 \$47

ChatGPT Plus月額利用料 \$20

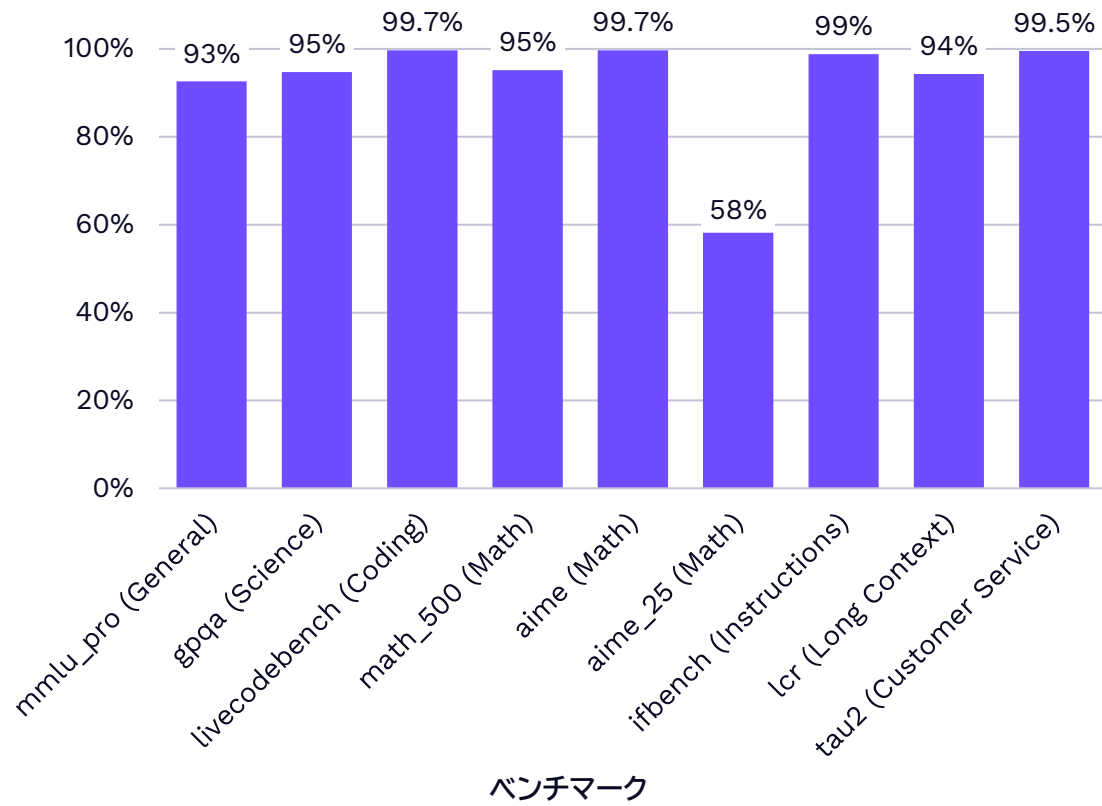
費用回収期間 ~1/2 Day



知能コストの急速な低下

ほぼすべての分野において、人工知能モデルのコストは指数関数的なペースで低下しています。ソフトウェア開発におけるコストは、2025年4月から12月までの8カ月間で、100万トークン当たり3.50米ドルから0.32米ドルへと91%低下しました。

主要ベンチマークで50%超を達成するモデルの年率コスト低下



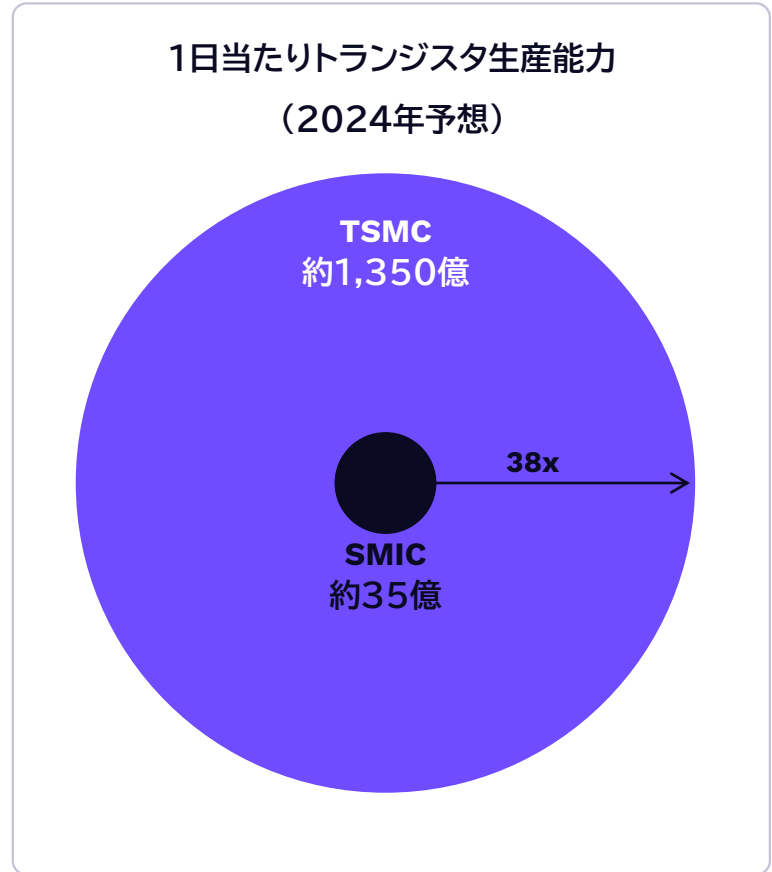
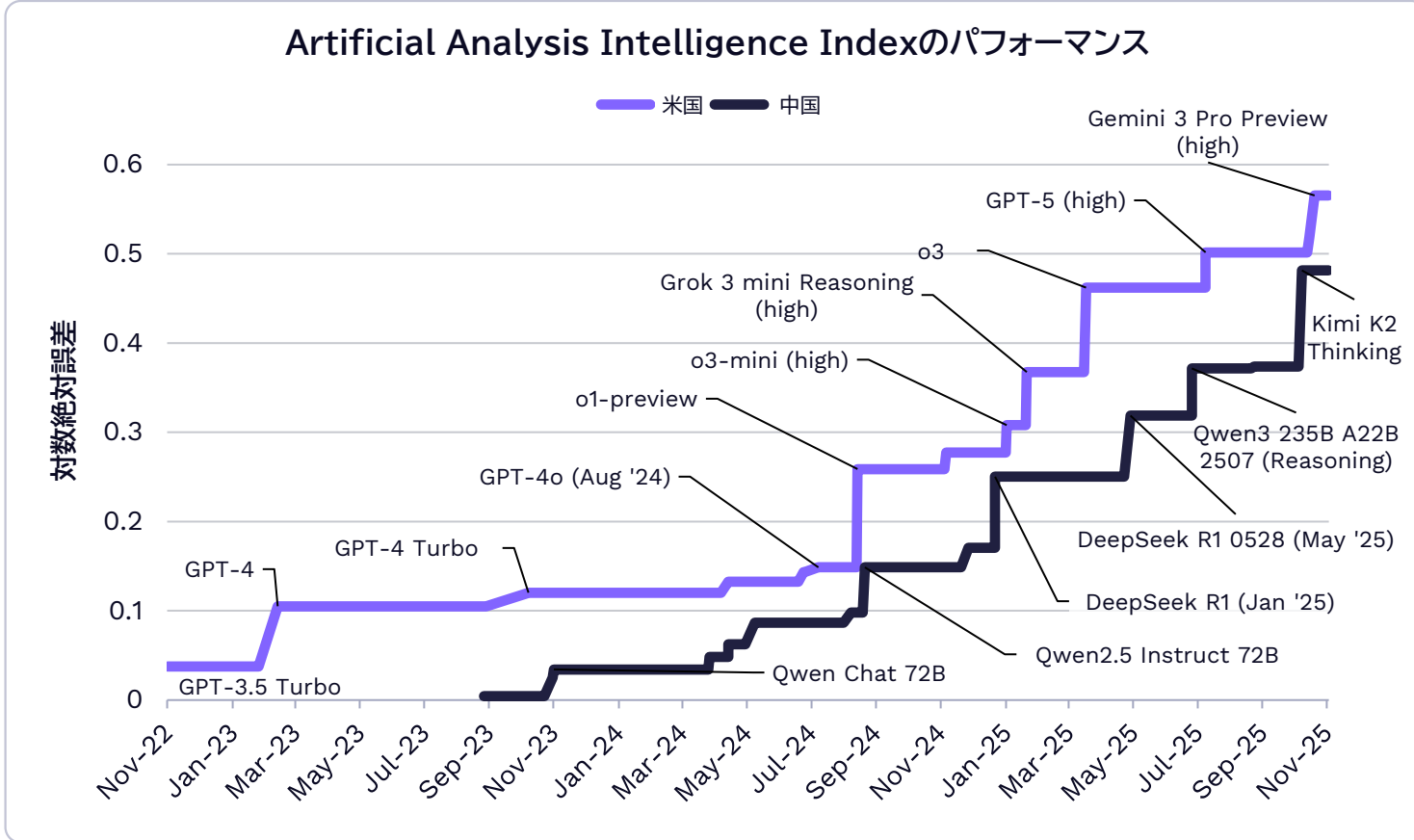
Artificial Analysis Coding Index
(スコア50超)





中国との激しい国際競争で米国が先行

中国のAIモデルは現在、性能面で米国のモデルに対しわずか6カ月程度の差まで迫っています。もっとも、最先端モデルの性能では依然として遅れを取っているものの、中国はオープンウェイトモデルの分野では優位に立っており、市場で最も高性能なオープンモデル上位10のうち8つを中国のモデルが占めています。それらは、かつてこの分野を支配していたMetaをも上回る性能を示しています。競争力を維持するためには、中国はより多くの演算能力へのアクセスを確保する必要があります。しかしこれは容易ではありません。というのも、Taiwan Semiconductor Manufacturing Company(TSMC)の生産する演算能力は、中国最大の半導体メーカーである Semiconductor Manufacturing International Corporation(SMIC)の約38倍に達しているためです。

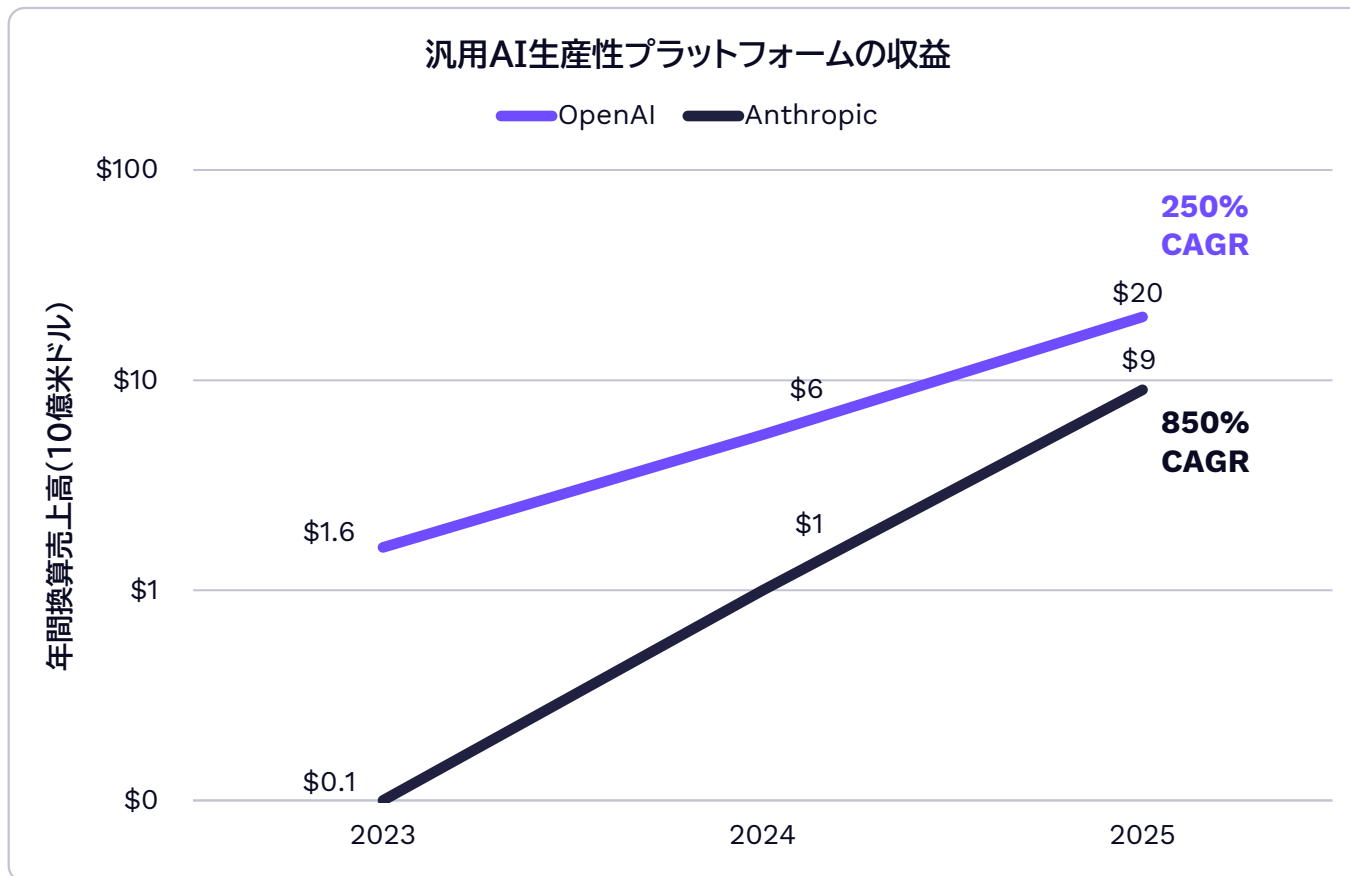


出所:ARK Investment Management LLC(2026年)。Artificial Analysis(2025年a)、TSMC(2025年)、SMIC(2025年)のデータに基づく(2025年12月1日時点)。これらに加え、本資料に記載された一部の情報は、ARKの内部分析によるものであり、追加の各種情報源を参照しています。本資料は情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の購入、売却または保有を推奨するものではなく、投資助言を構成するものでもありません。過去の実績は将来の成果を示唆または保証するものではありません。予測には本質的な限界があり、依拠すべきものではありません。



前例のない成長を続けるAIネイティブ収益

OpenAIやAnthropicのような汎用AIプロバイダーは、現在では大手上場ソフトウェア企業に匹敵する収益規模に達しています。同時に、AIネイティブ・スタートアップによる特化型サービスの採用も力強く拡大しています。設立から3年の企業であるCursorは、年間経常収益(ARR)を前年比1,000%超で成長させています。



特化型スタートアップ収益

ソフトウェア

Cursor

ARR:10億米ドル
2022年設立

リーガル

Harvey

ARR:1億米ドル
2022年設立

ヘルスケア

OpenEvidence

ARR:1億米ドル
2022年設立

カスタマーサービス

Sierra

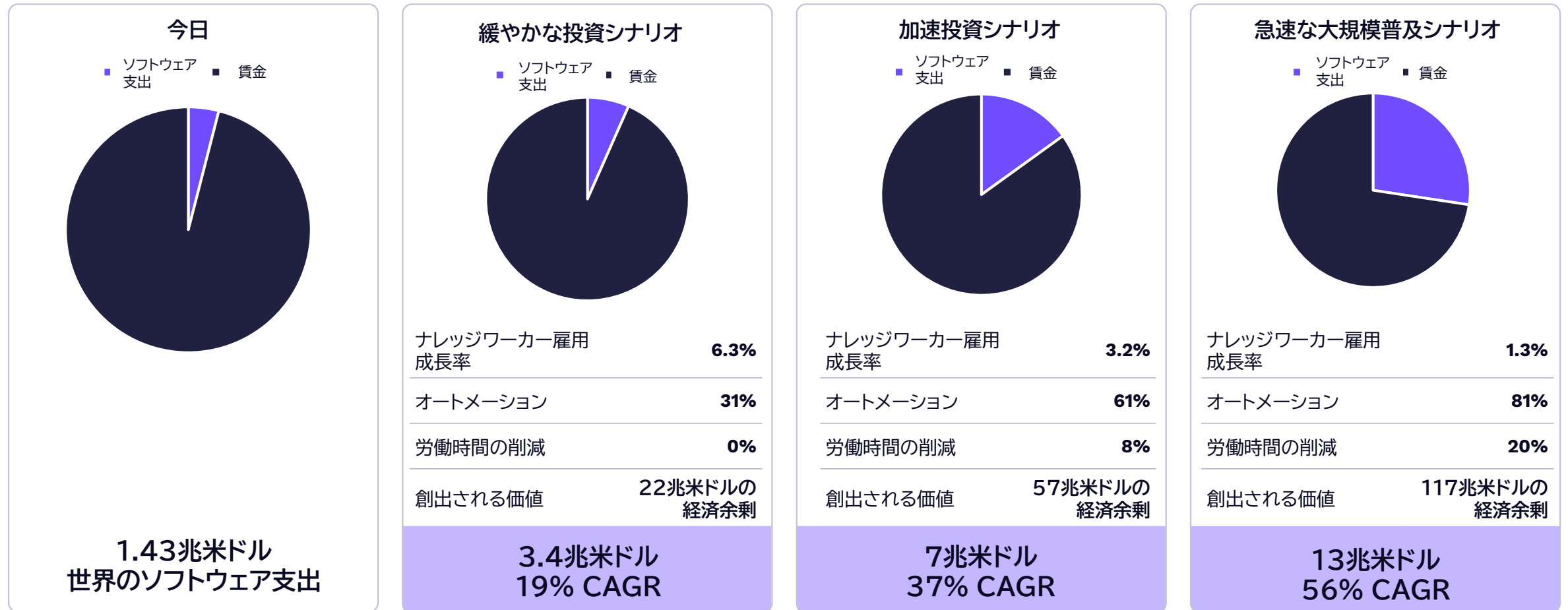
ARR:10億米ドル
2023年設立

注:「CAGR」はCompound Annual Growth Rate(年平均成長率)を指します。出所:ARK Investment Management LLC(2026年)。Reuters(2025年a)、Reuters(2025年a)、Sierra(2025年)のデータに基づく。これらに加え、本資料に記載された一部の情報は、ARKの内部分析によるものであり、追加の各種情報源を参照しています。本資料は情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の購入、売却または保有を推奨するものではなく、投資助言を構成するものでもありません。過去の実績は将来の成果を示唆または保証するものではありません。予測には本質的な限界があり、依拠すべきものではありません。



労働生産性加速による数兆米ドル規模の機会

企業がナレッジワーカーをAIで補完する動きを強めるなか、世界のソフトウェア支出の成長率は、過去10年間の年率14%から、今後5年間には年率19%~56%へと加速する可能性があります。雇用の伸びは鈍化し、平均労働時間も減少すると見込まれる一方で、長期失業率が上昇する可能性は低いと考えられます。



注:ソフトウェアベンダーが創出される価値の10%を獲得すると仮定しており、その分は現在の世界年間ソフトウェア支出に上乘せされるものとしています。「CAGR」はCompound Annual Growth Rate(年平均成長率)を指します。出所:ARK Investment Management LLC(2026年)。McKinsey(2023年)、Statista(2025年a/b)のデータに基づく(2025年11月28日時点)。これらに加え、本資料に記載された一部の情報は、ARKの内部分析によるものであり、追加の各種情報源を参照しています。本資料は情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の購入、売却または保有を推奨するものではなく、投資助言を構成するものでもありません。過去の実績は将来の成果を示唆または保証するものではありません。予測には本質的な限界があり、依拠すべきものではありません。